

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2018年3月号(第39号)



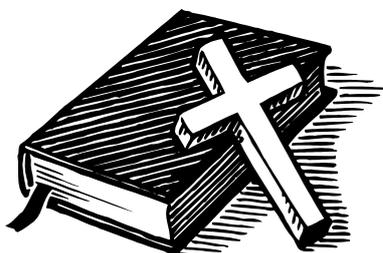
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

私たちがキリストの死と同じようになって、キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです。

【ローマ人への手紙 6章 5節】

今年は千葉でも積もるような雪が降り、寒さを実感した冬でした。3月に入り少しずつ春らしく過ごしやすい日が増えてくることを期待していますが、花粉症の方には大変な季節でもあります。また、この季節は教会にとっても大切です。それは、クリスマスと同じくらい重要な日である「イースター」(今年は4月1日)があるからです。ここ数年様々な場所で「イースター」という言葉を耳にするようになりました。しかし、もしかしたら言葉だけが独り歩きしてしまい、その意味を知らずにいる方もおられるかもしれませんから、なぜ教会がイースターを大切な日としてお祝いするのか書いていきます。

今月の聖書のことばの冒頭には「私たち

がキリストの死と同じようになって」とありますが、これはイエス・キリストが死なれたことを指しています。キリストは、当時のローマ帝国の中で最も残虐な処刑方法と言われた十字架によって処刑されました。それは、表向きはローマ帝国への反逆を企てたということになっていますが、聖書を読みますと、神が私たち人間を罪から救うための方法であったことが分かります。神の子であるキリスト一人に人類の罪を背負わせ、十字架に架けて身代わりとしました。それによって私たち人間の罪が赦される道が開かれました。聖書が語る罪とは、神に対して反抗して生きる生き方を言います。その罪の結果は滅びであるわけですが、滅びを望まない神は、キリストを地上に遣わ

し、救いの道を与えて下さいました。しかし、キリストは死んで終わりではなく、復活されたのです。聖書によるとキリストは死んだことが確認され、墓に葬られました。しかし、墓に入れられてから三日目に復活されました。この復活を記念するのがイースターです。また、これは私たちにとっても大きな意味を持ちます。今月の聖書のこぼの後半には「キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです」とあります。これは、自分の罪を悔い改め、キリストを救い主として信じた人は、キリストが復活したように復活することが言われています。誤解のないように申し上げますと、クリスチャンであってもこの地上にあっては死を迎えます。しかし、死で終わりではなく、死後のよみがえりを聖書では語っています。クリスチャンは、キリストが復活したように、死後のよみがえりを信じています。ですから、教

会にとってイースターは大変重要なものであり、クリスマスと同様にお祝いされるべきものです。それは、死を乗り越える希望を確認する時になるからです。私たち人間にとって死ほど大きな壁、敵はありません。どれだけ寿命を延ばしても死は必ずやってきます。そうであるならば、その死を先延ばしすることに希望を見いだすのではなく、死を乗り越える希望を持つことが重要ではないでしょうか。それがキリストの復活であり、キリストを信じることによって与えられる復活への希望です。どうかこの素晴らしい「希望」を受け取ってください。

◆コラム

当教会の紹介第五弾です。今回はおもに第二火曜日に行なわれているユニケの会についてです。この会はリトミックを用いて親子で楽しく過ごしたり、その後で親同士で夫婦のことや子育てのことなどを話し合ったりしています。子どもは5～6名集っていきまして、親同士が話している時には別の場所でワイワイガヤガヤ楽しく過ごしています。まだ始まったばかりの集会ですから手探り状態ではありますが、段々と形になってきています。興味のある方はご連絡頂ければと思います。時々第二週でないときもありますので事前にメールなどでお問い合わせ頂けると幸いです。

～集会案内～

- 日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30 ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
教会学校 10:00～10:40 (子どもから大人まで) 19:30～21:00
○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00 (子育てなどをしている方のための集い。)

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。